

科目名	歴史学概論	英文表記	Introduction to History	2015年3月5日			
科目コード	2017						
教員名: 下郡剛 技術職員名:						作成	
対象学科/専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科		2年	必	履修	2単位	講義	通年
科目目標	1前後の史実の連関を把握し、歴史を流れで理解できる。2現代の我々とは異なる思想・価値観を理解することで、多面的なもの見方や考え方ができるようにする。3現代と異なる形態の国家・社会・宗教等を学ぶことで、現代社会を相対的に把握できる能力を養う。						
総合評価	定期試験による評価(授業への取り組みを含むこともある)						
科目目標達成度	科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック				
	① 資・史料を提示し、歴史学的方法論を併せて説明することで、科学的・論理的に考える能力を高めるとともに、リアリティーある時代像の構築に努める。	正しく説明できるか定期試験で評価する。	理想的な到達レベル	標準的な到達レベル	最低限必要な到達レベル	セルフチェック	
			根拠を意識し科学的・論理的思考能力を高める。歴史の連続性を理解できる。	歴史の連続性を理解できる。	最低限の重要事項を記憶する。		
			②				
③							
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		100	0	0	0	100	
基礎的理解		100	0	0	0	100	
応用力(実践・専門・融合)						0	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0	
主体的・継続的学修意欲						0	
授業概要、方針、履修上の注意	資・史料を提示し、歴史学的方法論を併せて説明することで、科学的・論理的に考える能力を高める。それとともに、リアリティーある時代像の構築に努める。						
教科書・教材	教員が編集したプリント、プレゼン資料						

授 業 計 画

週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1	ガイダンス	2	授業の方針・進め方等についての説明		
2	下総の子犬の話―鎌倉幕府の中央政務機構と執権政治の成立―	2	漢文読解能力未習得段階における史料の使用方法について、古今著聞集を実例に説明し、併せて鎌倉幕府の中央政務機構と執権政治の成立を説話史料に基づき理解する。		
3	大化改新1	2	大化改新を国家史の視点から理解する		
4	大化改新2	2	大化改新を王権の継承の視点から理解する		
5	壬申の乱	2	壬申の乱を国家史・王権の継承の両視点から理解する		
6	律令国家の成立とその政務機構	2	律令国家成立に伴って編成される政務機構を知識し、その後の変遷を通して、現在の省庁制の母体になったことを知る		
7	天武天皇後の皇位継承	2	壬申の乱によって直系皇統としての地位を確立した天武系のその後の皇位継承を概観する		
8	聖武天皇後の皇位継承1	2	古代政治史のターニングポイントとなった聖武天皇期における皇位継承の異例について知識し、異例が多く生じた理由について考える		
9	聖武天皇後の皇位継承2	2	聖武天皇期における皇位継承の異例について、藤原仲麻呂の乱と道教事件を連動させ、孝謙天皇の皇位継承構想について理解する		
10	桓武天皇の登場	2	桓武天皇登場を語る『扶桑略記』の史料としての信頼性の問題を考える。		
11	聖武天皇後の皇位継承2	2	聖武天皇期における皇位継承の異例について、藤原仲麻呂の乱と道教事件を連動させ、孝謙天皇の皇位継承構想について理解する		
12	桓武天皇の登場	2	桓武天皇登場を語る『扶桑略記』の史料としての信頼性の問題を考える。		
13	桓武天皇後の皇位継承1	2	聖武皇統の断絶により直系皇統が再度天武系から天智系へ移行することを理解する		
14	桓武天皇後の皇位継承2	2	新しい皇統の直系として桓武系が認識されるようになることと、その後の皇統分裂を薬子・承和の両政変を通して考える。		
15	前期授業内容のまとめ	2	前期授業内容のまとめ		
期末	期末試験	[2]			
16	荘園の成立	2	摂関政治・院政を理解する上で必要となる荘園制の成立について概要を理解する		
17	摂関政治前史―藤原氏の台頭―	2	大化改新以降の藤原氏の台頭を流れで概観する		
18	摂関政治の成立	2	兼家の時に成立した摂関政治について歴史的意義を理解する		
19	中世への胎動	2	摂関政治・院政双方の政治構造の差異を理解することで、古代から中世への移行について考える。		
20	院政前史―後三条天皇の政治	2	後三条天皇の登場により、摂関政治の終焉と院政への胎動を理解する		
21	院政の成立	2	皇位継承を通して院政の成立を理解する		
22	院政の展開	2	成立した院政がその後、どのように定着してゆくのかを理解する		
23	鎌倉幕府成立前史1	2	鎌倉幕府の成立の前提となった平氏政権の成立を理解する		
24	鎌倉幕府成立前史2	2	平氏政権の展開を理解する		
25	鎌倉幕府の成立	2	鎌倉幕府の成立を皇位継承問題の視点から理解する		
26	鎌倉幕府の権力構造	2	下総の子犬の話を再度取り上げて、鎌倉幕府の権力構造を理解する		
27	戦後世界の成立	2	第二次大戦後の共産主義の台頭と、冷戦構造の成立について理解する		
28	前近代海上交通と大分磨崖仏1	2	前近代における海上交通の意義を時代別に理解する。		
29	前近代海上交通と大分磨崖仏2	2	上記理解に基づき、論点を大分の磨崖仏に及ぼす。		
30	後期授業内容のまとめ	2	後期授業内容のまとめ		
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		60	実時間	45	

自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)	標準的所用時間(試行)
①	各2時間×30回
②	各5時間×2回
③	
備考欄	